

第30回全国健康福祉祭あきた大会

レポート

ねんりんピック秋田2017

秋 田県内17市町村を会場に9月9～12日に行われた今大会には、全国から約1万人の選手・役員が参加し、総合関連イベントの来場者を含めると延べ52万人（主催者発表）が訪れた。スポーツ・文化交流大会には宮城県から25種目26チームが出場。開会式や閉会式、宮城県の選手の活躍を紹介する。



全国の選手団が集めた総合開会式

楽しく交流し汗流す

大会前日に秋田に到着。JR秋田駅では横断幕を掲げて小旗を振る大勢の大会ボランティアと、秋田民謡の演奏による歓迎を受けました。翌日に備え酒宴をほどほどに就寝したものの、深夜に秋田県内陸南部を震源とする震度5強の地震が発生。余震が続く中、ねんりんピックは開幕しました。

初日は朝から厳しい残暑の中、秋田県立中央公園園営陸上競技場で総合開会式が行われました。



「かわいい」秋田まごころKIDSがお出迎え



見事、ブロック優勝したサッカー



全勝したラグビーフットボール



個人優勝したマラソン

宮城県選手団の先導役は、「秋田まごころKIDS」の秋田市立河辺小5年生。孫のようにかわいい子どもたちが、応援メッセージを記したカードや、仙台・宮城観光PRキャラクター「むすび丸」を描いた手作り横断幕のプレゼントとともに激励してくれました。

選手団は一步一步踏みしめて行進。秋田県出身の民謡歌手による国歌独唱や、「爽り豊かな秋田の四季」を題材にした舞踊、秋田県民の生きるたくましさや全国にアピールするナレーション、夏の風

物詩「秋田竿灯祭り」のパフォーマンスは感慨深いものでした。

優勝や入賞多数

スポーツ・文化交流大会で宮城県勢はサッカーがブロック優勝、ラグビーフットボールが交流戦全勝を果たしました。個人ではマラソン3名60歳、69歳女子の部で名取市の



美術展「工芸の部」の銀賞作品

篠原洋子さん(64)が優勝。グラウンド・ゴルフが男性の部で優秀賞、弓道が3位を獲得するなど各種目で力と技が発揮されました。囲碁、ペタンクが高齢者賞を受賞しました。一方、美術展には宮城県から10作品が展覧され、工芸の部で銀賞を受賞しました。

秋田県民会館での総合開会式では、来年の開催地・富山県に大会旗が引き継がれました。フィナーレに秋田県出身の成田為三作曲の「浜辺の歌」を全員で合唱。感動の中で閉幕しました。(A・E)

今年の開催地は同じ東北の秋田県。とはいえ、集合場所のJR仙台駅から宿泊先がある大湯村まで、新幹線とバスを乗り継ぎ、移動時間はなかなかのものでした。移動中は作戦会議をしたり、プライベートな話題で盛り上がったたり、学生の修学旅行のような雰囲気。楽しく交流を深めました。

た。チーム紹介は趣向を凝らしたもので、例えばダンススポーツは本番さながらの華麗なダンスを披露してくれました。ねんりんピックはスポーツや文化を通じた交流が目的の一つ。皆さん、「楽しみなが頑張り」と気合十分でした。

心も体もはつらつ

スポーツ・文化交流大会では弓道を見学。静寂の中での技と精神の戦い

に圧倒されました。年齢を重ねて醸し出される所作や立ち居振る舞いはさすがです。

競技を通して仲間ができ、心も体も健康になります。健康維持には自分の努力に加え、仲間や家族の支えも大きいでしょう。今大会でシニア世代のはつらつとした姿を見て、何かに夢中になり、集える仲間がいることは生きがいにつながると実感しました。

仲間の存在が生きがいに

団長インタビュー



宮城県選手団団長 鈴木隆一さん (県社会福祉協議会会長)

今年の開催地は同じ東北の秋田県。とはいえ、集合場所のJR仙台駅から宿泊先がある大湯村まで、新幹線とバスを乗り継ぎ、移動時間はなかなかのものでした。移動中は作戦会議をしたり、プライベートな話題で盛り上がったたり、学生の修学旅行のような雰囲気。楽しく交流を深めました。

た。チーム紹介は趣向を凝らしたもので、例えばダンススポーツは本番さながらの華麗なダンスを披露してくれました。ねんりんピックはスポーツや文化を通じた交流が目的の一つ。皆さん、「楽しみなが頑張り」と気合十分でした。

に圧倒されました。年齢を重ねて醸し出される所作や立ち居振る舞いはさすがです。

競技を通して仲間ができ、心も体も健康になります。健康維持には自分の努力に加え、仲間や家族の支えも大きいでしょう。今大会でシニア世代のはつらつとした姿を見て、何かに夢中になり、集える仲間がいることは生きがいにつながると実感しました。